学校教育目標
＜かしこい子　やさしい子　たくましい子＞
スローガン
「みんな なかよし えがお かがやく 有小っ子」

有家小学校学校便り
令和４年１月１１日
ＮＯ．１１
文責　校長　山下

明けまして おめでとう ございます。
今年も よろしくおねがいします。

「何となく、今年はよい事あるごとし／元日の朝、晴れて風無し」（石川啄木）

元日は快晴で、自宅から初日の出を拝みながらこの句が頭に浮かびました。今年もよい事がたくさんあって欲しいですね。２学期終業式に子どもたちにも「一年の計は元旦にあり」と言いました。どのような目標を持ち、決意を新たにしたことでしょうか。自分の夢や目標をしっかり持ち、それに向かって努力できる人間になって欲しいと思っています。また、皆様方にとっても良い年になることを願っています。

始業式では、１７日ぶりに元気な姿を見せた子どもたちと冬休み中に安全に過ごせたことを喜び合いました。３学期は、一年間のまとめと次の学年への準備をする期間でもあります。１年間の集大成です。更なる飛躍を期待します。そして、３学期は学校に登校する日は１～５年生で５０日、６年生は４６日です。あっという間に過ぎて行きます。１日１日を大切にして過ごしてほしいと思います。最後に、子供たちの幸せを願いながら、次のことを引用して話をしました。

＜幸せを構成する４つの因子＞

幸せを構成する要素にはいくつかありますが、お金、物、地位を得た時に感じる「長続きしない幸せ」に対して、「長続きする幸せ」を生むのが、「心の幸せに影響する４つの因子」なのだそうです。

★その一　自己実現と成長　**「やってみよう」**因子
夢や目標を持ち、何かを「やってみよう」とする人は幸せです。
子育てにおいて、親自身が「私の夢はこうなんだよ」と子どもに話して聞かせることも大切なのだそう。

★その二　つながりと感謝　**「ありがとう」**因子
具体的なことでなくても、「あなたがいてくれてよかった、ありがとう」と言いあうだけで、お互いが幸せになります。
また、親がポジティブな言葉を遣っていれば、子どももまたポジティブな言葉遣いができるようになります。

★ その三　前向きと楽観　**「なんとかなる」**因子
前向きに、楽観的に、チャレンジする人が幸せ。
「算数ができない」「早く走れない」など、目の前のネガティブな要素に一喜一憂せず、「いつかはできるようになる」という気持ちでいることが大切です。

★その四　独立と自分らしさ　**「ありのまま」**因子
他人と比べ過ぎず、自分らしくいること。
人と比べていると見えなくなってしまう子供の良さ、あるいは自分の良さを、きちんと見つめることが欠かせないのだそう。

教育とは、「ありのままに」自分の個性を伸ばし、「なんとかなる」と自信を持ち、「やってみよう」と行動し、「ありがとう」とともに歩んだ仲間に感謝するような人間を育成することではないだろうか。

＜慶應義塾大学大学院　前野隆司教授　幸福学概論より＞

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

保護者記述欄については、記述内容が多く、紙面の都合上、今回は記載するのを控えさせていただきました。その中で、一部挨拶に関しての記述を紹介します。「学校で挨拶の指導を再三されていると思いますが、元気にする子とまったくしない子、こちらからしてからほんのわずか頭を下げる子などです。それぞれの家庭でも親が話をしないといけないなと思いました。」ありがたいご意見です。学校・保護者が一緒になって子どもたちへの指導ができれば効果も上がるのではないかと思います。よろしくお願いします。

新型コロナ、オミクロン株が感染拡大！

末年年始にかけて急拡大し、第６波が来たといわれています。地域によっては教育活動も制限されているところも出てきています。今のところ３学期の行事も予定通りとしていますが、状況によっては、中止または延期、もしくは規模縮小となる可能性もありますのでご了承ください。また、***子どもたちの登校前の検温、健康観察の徹底、風邪症状がある場合は登校を見合わせる等の対応をよろしくお願いします。***